

1. 徹底した情報公開
2. 「従来の市民参加」の見直しと「新たな市民参加手法」の導入
3. 地方自治法の権限を最大限発揮する二代表制(議会と首長)の構築
4. 異常値を見つけたときの一旦停止とスイッチの切り替え
5. 劣化・形骸化しないよう市民の合意形成過程の絶え間ない見直し

【一現、し、民せ、イシー・ドたて添由脱、合出、ムノ形バ充きめり』の手をさし、サデベ化・ン実ワて含寄、』入ル引ストオ加査、オ度一れもに索、すのトのエフ参査、ル制キさ義主模ら報ク知恵フト民調査、ル制【置主のをか情優、たニツ市向調査、ル制の放前民策べな、マラ、意なく通性や自市決む要消、レ、意なく通向ズし、解しに解と算成タ主義、で公方二起探ル知さズ共有型意ク互室、直ベのりをべ、との報加合リ相、止見う知掘性し、な政情参、ン阻等か未を能いべ要行、民ルムヨ化例向ズ可高む必とる。市クジシ劣条

6. 10年以内に「市町村M&A」の姿を提示し、選択の機会を作る準備
7. 従来の発想を越えた広域で連携を模索し、実現を目指す
8. 市町村M&Aを前提し、市史等の歴史を編纂
9. 市町村M&Aを前提し、市町の歴史的遺物の保存・展示

向かうべき方向性の【キーワード】
 想定「の衰退していく未来」を変え
 る、自治体機能の安定、国際競争力を
 極限まで高める、国際空港地元地域、
 世界の国際空港地元地域の動向、今後
 の激しい人口減少・消滅可能性都市
 大規模災害対応可能性、田辺市の合
 時作成資料、南泉州市、和歌山市・岩
 出市・紀の川市・淡路島洲本市・徳島
 市等、府議会基礎自治の機能強化条例
 制定、世界と競い合い、世界とわたり
 合える南泉州地域、中核市、自治体
 Xで役所の距離を無関係に

10. 各事業・施策の災害リスクの見極めとリスク低減の取組
11. 大規模災害時の初動から復興までを府民のみなさんとともに何度も見直す
12. 過去の大規模災害から学ぶ、想定される足りない機材等の補充
13. 子どもたちに、地元の自然災害の伝承と命を守る教育

向かうべき方向性の【キーワード】
誰が被災しても対応可能な初動の体制と動作の徹底、自衛隊・警察・消防・消防団のみなさんの連携、軽トラ、仮設トイレ・トラック、自治体庁舎が被災時の超対応、全国から応援に駆けつけてくれる自治体職員やボランティアの対応、現場に出張テントを置くなどして罹災証明書・被災証明書発行等の先進的取り組み事例の修得、どれだけ準備しても「想定外」があることの想定、障がい者のみなさんの避難所備蓄品や設備の充実、大型免許取得

14. 恒常的に子育て世代の声を聞く仕組みを作る
15. 最低限近隣市町と同程度の行政サービスを維持(日本ワースト2対策)
16. 先進的な分析を行っている自治体の知恵を借りる
17. 未知の施策を実施する分野
18. 「日本ワースト2」早期脱却
19. 保護者が市町で子育てするメリットを実感する大胆な施策実施

向かうべき方向性の【キーワード】
 試行錯誤、成功事例なし・自ら考える
 突破口を見出す・しかし日本国として
 最重要・地域課題も解消、尖った政策
 の必要性、非常識の先、全国を牽引す
 る可能性大の分野、ネウボラ（フィン
 ランド発の子育て支援制度・施設。一
 家族ごとに一人の保健師が継続して担
 当し、妊娠から出産・子育てに関する
 あらゆる相談にワンストップで対応、
 利用者は早期に適切なサポートを受け
 られる）、夕暮れの防災無線子ども
 たちに

人生の先輩方 シニア世代の社会参加や先輩方にやさしいまちづくり等すべての局面で必須。
障がい者のみなさん 第四策「子育て世代のまちづくり」でも、先輩方にやさしいまちづくりに繋がるようにする。すべての局面で、障がい者のみなさんにやさしいまちづくりは必須です。

『危機感』の欠如が、まちをダメにする！ 変えんとアカン。変らなアカン。

今年、関空開港30年！ 南泉州市・住民投票20年！

次世代に引き継ぐ地域の政策を みなさんと一緒に創る
南泉州から日本を変える！ 世界とわたり合える南泉州を！

私たちが生きている「いま」。
それは、英霊となった方々が、命懸けで守ろうとした尊い日本の未来。
「すべての人よさらば 後を頼む 征って参ります」と、次の世代に託された思い。
いつの時代も、「いま」は、次の世代へと託されていきます。

すべては、次世代のために
変革と挑戦で、現状を打破し、限界突破

9月号は、みなさんと一緒に創る政策『土井達也の八策』第3回目です。みなさんの声をお聞かせ頂ければ幸いです。

令和六年 初秋

会派 地域政党 南泉州地域の潜在能力を最大限発揮する会・代表 土井 達也 Southsenshu City
大阪府議会議員 土井 達也

19. 教員の負担の軽減と授業で勝負
できる環境整備

20. 恒常的に次世代の声を聞く仕組みを作る

21. 子ども・保護者が、市町で育つメリットを実感出来る大胆で尖った
施策の実施

向かうべき方向性の【キーワード】
 裁量権、お互いのノウハウや知識を利用し
 合うコミュニケーション能力・ネットワーク
 をうまく活用できる人の育成、生徒自らのモ
 テベーションは厳しい管理からは決して生ま
 れない、世界の問題から生活の問題まで科目
 に分かれて発生しない（社会問題解決の手法）、
 方法を極めながら目標を見失うのは本末転倒、
 権限移譲、独自の教材開発に支援金、中学校
 部活の顧問外部化で教員の負担軽減と授業で
 勝負できる先生の育成とシニアの社会参加に
 接続する、イノベーションを引き起こす企業
 家（アントレプレナ）精神はどの分野でも必
 要、学生科学賞など展示と選抜の工夫（参考：
 堺市）

22. 世界の国際空港・地元地域のあり様を調査・研究・情報共有し、目指す方向の実現へ
23. 全国の自治体と善政競争へ参画
24. 評価機関で自治体受賞チームに報奨金と公表
24. 奨学金返済や学び直しへの支援
25. 自治体・企業等との相互派遣
26. 私自身のマニフェスト・サイクルと恒常的なバージョンアップ
27. 新たなより重要な裁量的業務に取り組むため、別の裁量的な業務の見直し（裁量の計画や事例も）
28. 大阪府からの権限移譲の見直し
29. 近隣自治体や全国類似団体との比較
30. 評価制度や外部監査の有効活用
31. 特別顧問・特別参事等外部人材登用制度創設
32. 資金調達手段の多様化

向かうべき方向性の【キーワード】
世界の国際空港・地元地域のあり方を調査・研究・共有、地域みんなで国際競争力を高める地域のあり方を知り取り組む、自治体評価機関、優れた取り組みに報いる制度、能力を高める支援、相互交流、マニフェスト大賞、必須業務の職人化・磨き、サービス比較、行政評価、外部監査、市長直轄外部人材、小さな成功体験、裁量業務、計画や条例の改廃、予算編成過程の見える化、政策形成過程の見える化、業務執行過程の見える化、公務と公務厳格化

- 33. 樹木や草花による優れた景観の創出と保全
- 34. 草食動物による草刈の検討(手の付けられない場所)
- 35. 水素の製造やその関連企業等の支援や誘致を目指す
- 36. 大阪湾で水と水素の循環を目指す
- 37. 水素の自前主義
- 38. 地元企業との連携により、地元企業
- 39. CO2排出量削減の取り組みと結果
- 40. 昔よりも極端な雨の降り方は、今

向かうべき方向性の【キーワード】
 美の条例、水素の循環、大阪湾沿岸
 でカーボンニュートラルの達成、水素
 の特許はわが国がダントツ、水素の資
 源国家へ自前主義

41. 本庁舎を含め公共施設の見直しと民間代替施設の模索
42. 公共施設と民間手法の協働
43. 規模の大きな公共用地は唯一自治体で方向性を持ち企業誘致できる土地なので売却はせず、貸出
44. 駅周辺等の土地の高度利用を促すため、容積率・建ぺい率の緩和等、規制緩和の検討や幹線道路沿いの土地活用を促すため公共下水接続へのあり方を検討(参考岩出市)

【キーワード】
方向性のべきう向かう
非野に研人ー7化個・デまを大
分あ査いれ2050は街4市・小

る等の激して町、9南空一イ負
の調しフ、て市3泉、スデ費
て用法らル建岬定場、景、タイ費
し活手ガセ而て想球町過、アの
実地用なク策しが園履設社が未
充土活いア政較減子田施公帯始生
との地抗、な比割甲（共発開時後の弥
例面土に須うと5「用公開開時の弥
事計な化必よ時はで利、地のラタ未
功市タ子はむくで算末」土、フタ
成都様少応踏一市計が町、る、ン
・は、対にビ南純地岬一、あ、学
進て得入へ時口阪単土・パがあ、立
先べ心導少同人・はの市ッ間え大
にすのと減をはに滅域）南ロ間え大
常、方究口キ年割区分阪ベ時見据
向かうべき方向性の【キーワード】

市、阪南市、岬町）、公共施設過剰、主一
 きた・空きの土地活用重要、民間不動産・デベロッパー、土地開発公社、スタ
 アップ時の公営企業、コンパクトシティ、まだ時間がある、この時間帯がアイディ
 ア・想定の対応策を企画する時間、都市縮小を見据えたインフラの後始末の費用負
 担のあり方、地方を自治例百選第5版65頁大阪公立大学教授久末弥生